



栗原 和子
(くいはら かずこ)
1月25日生まれ

★秋の歌の思い出

「里の秋」

母がよく歌っていたので私も自然と口ずさむようになり、思い出の歌です。一番二番三番と歌詞を見ていくと、今になり母の心境がよく分かります

★読書の秋

「脳育ての黄金ルール」 著者:黒川伊保子先生

この本の内容全てが“なるほど!!”と首を振り納得します。

子育て真っ最中のお母様方へお知らせしたいこと・・・男の子のママは是非P83を読んで欲しい。幼児期の男脳は空間認知力を蓄える時、ボーっとしているように見えますが脳はフル回転しているとのこと。周囲の環境がいかに大切か痛感する。

★秋のおすすめ料理

故郷で秋が深まると最上川の河原でたきぎを集め「いも煮会」が思い出の行事である。

味噌か醤油で・・・材料(里芋、じゃがいも、厚揚げ、豚肉、きのこ、ネギ)

★秋の歌の思い出

「フニクリ・フニクラ」 イタリアの曲

小学校の時、恩師から教えてもらった歌です。

★読書の秋

絵本「はらべこあおむし」 エリック・カール作

数十年前、幼稚園に実習で来られた方から紹介していただいた絵本で、青虫誕生から蝶になるまでの話しに、当時のお子さん達も毎日繰り返し読んでいくうちに、遊びへつながり表現遊びへ(子ども会)つながった絵本。

それからエリック・カールが出す絵本が大好きになりました★

★秋のおすすめ料理

「すいとん」

母が作ってくれた思い出のすいとん。

醤油がベースで隠し味に味噌も入れるとおいしいです。



稲葉 幸子
(いなば さちこ)
7月 6日生まれ

★秋の歌の思い出

「もみじ」

大学時代、小学校の教育実習で音楽指導をした時の曲です。

ピアノも必死で練習しましたが、子ども達と2部の歌唱指導をした思い出は忘れません。

今までもこの歌を唄うと、その時の実習の自分の姿やお世話になった先生方や子ども達の様子がはっきりと思い出される1曲です。

★読書の秋

「うまれてきてくれて ありがとう」 文:にしもと よう 絵:黒井 健 (童心社)

本屋さんに行って“はっ”として寄せ付けられた1冊の絵本です。毎日の忙しない自分に、子どもたちが成長するにつれ、つつい目先の事ばかりに気を捉えていました。この絵本に触れて、人として母としての大切な気持ちを思い出しました。是非一度、読んで下さい。

★秋のおすすめ料理

「けんちん汁」・・・十五夜のお月見だんごと一緒に食べるけんちん汁は最高です。

十五夜の夜は、縁側にススキを花瓶にさしてお月見だんごと一緒に飾って、だんごやけんちん汁を食べることが言われたそうです。我が家でも十五夜の夜は必ずけんちん汁を食べていました。

里芋、人参、大根、ごぼう、豚肉、豆腐など、たくさんの具を入れて食べると、とっても体が温まり何杯

でも食べられてしまいます。秋の食材をたくさん使った一品です。ちなみに今年の9月の

十五夜は、満月でとってもきれいなお月さまでしたよ★



中山 年江
(なかやま としえ)
12月15日生まれ

★秋の歌の思い出

「でぶいもちゃん ちびいもちゃん」

♪でぶいもちゃん つちのなかで なにしてたの…♪と

さつまいも堀り時期になると頭の中をかけまわります。とても可愛い歌詞ですので是非お子さんと一緒に歌って下さい★

★読書の秋

「ターシャ・テューダーのクリスマス アドベントカレンダー」

作、絵:ターシャ・テューダー 訳:ないとう えりこ (メディアファクトリー)

コーギビル村の広場を舞台に、24枚の扉があります。12月1日～24日まで毎日1枚ずつ扉を開けると、中から可愛い動物達が顔を覗かせます。ターシャ・テューダが実際に家を使っている手作りカレンダーを再現し、あたたかいカレンダー絵本です。

★秋のおすすめ料理

父がきのこ狩りが趣味で秋になると山に入り、もたせ・ねずみ・くりたけ・ひらたけと…

かごいっばい採ってきます。そのきのこを、なすと一緒に炒め、おいしいうどんの

つゆやけんちん汁を作ります。きのこの香りが漂い、とってもとってもおいしく

頂きました★

小橋 久美子

(こはし くみこ)

12月19日生まれ



★秋の歌の思い出

“ちいさなこのみ”

幼い頃、この歌を聴くとなぜか寂しいような悲しいような気持ちになったのを覚えています。今は歌詞も理解でき、男の子の思いがよく分かるようになりました。

★読書の秋

ほし組の子ども達と日本の神話を読んでいます。

「あまのいわと」「やまたのおろち」「いなばのしろうさぎ」等、難しいと思いがちですが、やまたのおろちを退治したスサノオの命の7世が、いなばのしろうさぎを助けたおおくにぬしの命だったり、今まで知らなかったことが分かることで、興味関心も高まってきます。

★秋のおすすめ料理

秋のサンマはサイコーですね。先日、外で炭に火をつけサンマを焼いて食べました。

サンマの油がのりすぎていてまっ黒くなってしまいましたが、味はおいしかったです!!

やはり一味違いますね★今度はもっとじっくり焼いて見た目もおいしく

頂きたいものです。

★秋の歌の思い出

「紅葉」

学生だった頃、合唱部での練習として歌っていた曲の一つで、輪唱したり、ソプラノ・アルトパートに分かれて唄った思い出の曲です♪この時期になる山々の紅葉を見ながら思い出す歌です。

★読書の秋

「さつまいものおいも」 文:中川ひろたか 絵:村上康成 (童心社)

さつまいもは土の中で何をしているのか…? おいも堀りでひっこぬかれないようにトレーニングをしてがんばりますが、結局抜かれてしまうという面白い瞬間が描かれています。

また、おいも達の九州弁も面白いです♪

★秋のおすすめ料理

「けんちん汁」

昼は暖かいけれど、夜になると肌寒くなり温かい食べ物が恋しくなる季節。

一番食べたくなるものがけんちん汁♪里芋、じゃがいも、人参、ごぼう、油揚げ、豆腐

など野菜たっぷり、栄養たっぷりの具を食べるだけで、お腹いっぱいになります★

デザートには、かぼちゃプリンが一番おいしいですね!!

山崎 理恵

(やまざき りえ)

1月14日生まれ





★秋の歌の思い出

小さい頃、市内の少女合唱団に入っており、秋から冬のコンサートに向けて一生懸命練習していました。「まっ赤な秋」の2部合唱は小さい私には難しく、歌えた時はとても嬉しかったことを覚えています。

★読書の秋

「かばくんのふね」 岸田衿子 作 中谷千代子 絵
子ども達が大好きな「かばくん」が洪水になった動物園で大きな船になって大活躍します。ちびのかばくんも頑張ります。リズムカルで味わいのある文と絵ののどかな絵本なので大好きです。

★秋のおすすめ料理

秋になるとホクホクの焼いもが食べられることが楽しみでした。今でもずっと焼いも好きです★

★秋の歌の思い出

♪赤とんぼ♪ ♪紅葉♪
秋に関する歌って沢山ありますよネ…。
幼い頃におばあちゃんと一緒に歌っていたのかな…。

★読書の秋

- ・詩集 「百歳」 柴田 トヨ (飛鳥新社)
感性豊かな表現。思わず笑ってしまう一文や重みを感じる一言に人生の深さを感じます。
- ・絵本 「ぼち ぼち いこか」 マイク・セイラー:作 ロバート・グロスマン:絵 今江祥智:訳
すみれ組 ひそかな話題作。失敗を繰り返しても新しいことに挑戦!!
ゆっくり、のんびり頑張ろうという気持ちになれます。

★秋のおすすめ料理

「さつまいも」
何と言っても“ふかしいも”です。様々な料理やお菓子に変身する「さつまいも」。でも塩味がきいた素朴な味は最高です。



★秋の歌の思い出

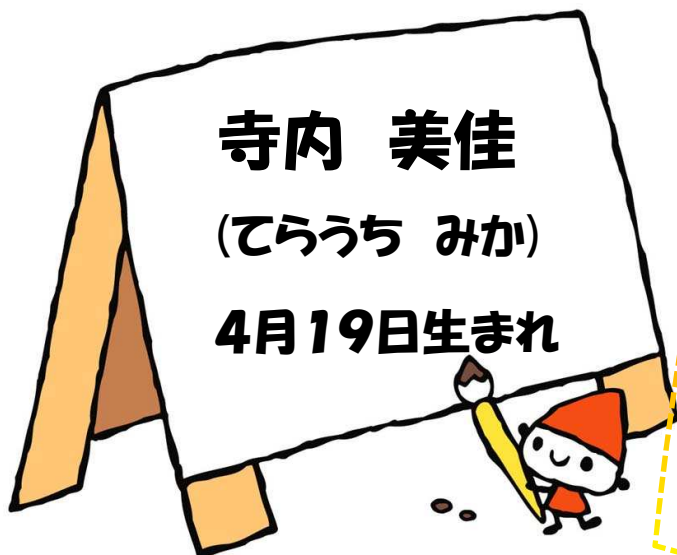
秋といえば、子どもの頃の遠足が思い出されます。大型バスの中で、必ず歌った歌といえば、園歌や校歌。懐かしさから口ずさんでみると歌えるものですね(笑)
今のお子さん達も二杉幼稚園の園歌を大人になっても歌い続けてほしいと思いました。

★読書の秋

「人生がときめく片づけの魔法」 近藤麻理恵 (サンマーク出版)
“一度片付いたら、絶対に元に戻らない方法”を書いた本です。
ただ単純に捨てるのではなく、自分の中に“ときめく”かどうかで判断するそうです。
私も実践して女子力をアップさせたいです。

★秋のおすすめ料理

先日、親戚の方から自家製の立派なまいたけを頂いたので、まいたけご飯を作りました。
私はバター風味で作るのですが、子ども達も大好きな一品です★



★秋の歌の思い出

♪あきのこびとオータムタム♪

学生の頃知った歌です。小人さんが秋を運んでくる可愛い歌で、私はとても好きです。曲調も素敵です♡

★読書の秋

「体を温めて病気にならない生き方」

先月、本屋さんで目にとまり、つい買ってしまいました。

私は冷え症なので、体温アップでこれからやって来る冬を乗りきりたいです!!

★秋のおすすめ料理

先週、息子たちとさつまいも掘りに行ってきたので、おやつに

さつまいもケーキとさつまいものカリカリ揚げを作りました。

どちらもシンプルですが美味しいです♡



大和田 美樹

(おおわだ みき)

8月 6日生まれ

★秋の歌の思い出

「まっ赤な秋」

先日、20歳になった教え子と会って昔話をしました。

水道山へハイキングへ行った思い出話です。

その時に山道を歩きながらみんなで唄った歌です。

★読書の秋

もうすぐ季節も秋から冬へ変わろうとしています。

冬が近づくとつれ、子どもの頃から何回も読んだのが「手ぶくろをかいに」です。

娘も息子も大好きです。

★秋のおすすめ料理

「牛肉とまいたけの炒めもの」

牛肉とまいたけを炒め、オイスターソース・豆板醤・おろしにんにく等で味つけをします。

お好みで銀杏を入れてもOKです。さっと作れて深い味わいになります★

加藤 美香

(かとう みか)

6月13日生まれ



★秋の歌の思い出

小学校5年の秋に日光へ遠足に行きました。

素晴らしい紅葉を見ながら、みんなで“もみじ”を合唱したことは、

今も色褪せることなく私の心の中で大切な思い出としてキラキラ輝きながら残っています。

★読書の秋

「ばあちゃんのえんがわ」 野村たかあき 作・絵 (講談社)

版画で綴られた絵本です。私は絵本が大好きで、特に野村たかあきさんの作品は

とても暖かい作品です。おひさまの日差しが当たって、ポカポカと温かいばあちゃんの縁側。

今にも懐かしい母のにおいが漂ってきそうです。

★秋のおすすめ料理

「けんちん汁」

母から教わったけんちん汁は、はじめにお豆腐を油で炒めます。その後、

里芋、しいたけ、人参、ごぼう・・・野菜を炒めて煮込みます。味付けは

醤油です。たっぷりの刻みネギとおろしたショウガをのせて

いただきます★



森田 信子

(もいた のぶこ)

9月 1日生まれ



小島 史織

(こじま しおり)

3月4日生まれ

★秋の歌の思い出

私が保育園に通っている時に、秋になると童謡「どんぐりころころ」を唄っていました。この歌が好きで、よく家に帰っても唄っていました。そして母と一緒に公園でどんぐり探しをしている時に、近くに坂があり、そこに大きなどんぐりが落ちていました。私は嬉しくなり、走って取りに行こうと思いましたが、石につまづき、そのまま転がってしまった苦い思い出がありました。

★読書の秋

詩集のようなものですが、「みてごらん きみの空」という本に出会いました。元気の出る言葉が書かれていたり、落ち込んでいる時に元気になれる言葉がたくさん書かれていました。その中でも好きな所があります。“あれこれ迷ったこともあったけど、希望と勇気の切符を手に、君を選んだその夢に乗り込もう 君の未来は君にしか創ることはできないのだから”

★秋のおすすめ料理

きのご類をたくさん使った、きのご飯です。しいたけ・しめじ・えのき・まいたけを使って作るご飯は、色々なきのこの味が楽しめ、贅沢なご飯だと思います。

★秋の歌の思い出

「き・き・きのこ」の歌いだしの♪きのこ♪
この歌は〇〇年前、私が実習生の時に教えていただきました。
今現在、子ども達や息子と一緒に歌えることが素晴らしいなと思います。
リズムカルで気付くと口ずさんでいます♪

★読書の秋

「謎解きはディナーのあとで」
話題となった1冊です。ただ、今手元にあるのですが、なかなか読み始められないです。

★秋のおすすめ料理

「鮭のホイル焼き」
お好みの魚とたっぷりのきのご類をホイルに包んで蒸し焼きにするだけの簡単な料理です。我が家は魚よりきのこの量が多いのが特徴。
ポン酢をかけてさっぱりと召し上がれ！



坂野 純子

(ばんの じゅんこ)

3月26日生まれ

★秋の歌の思い出

「赤とんぼ」
小さい頃に、おばあちゃんと手をつないでお散歩に行き、秋はとんぼが飛んでいるとおばあちゃんが良く歌ってくれました。今思うと、とても懐かしい思い出です。

★読書の秋

たんぼぼ組にある「あっちゃん おはよう」という本です。
おばあちゃんが大きな声で挨拶することが恥ずかしいと思ってしまう主人公あっちゃん。1日の始まりの挨拶を大きな声ですると気持ち良く元気になれる。
たんぼぼ組のお友達も大好きで「先生、読んで」と言ってくれます。
一緒に見ていると、皆で「おはよう!!」と言っている笑顔がとても気持ちいいです。

★秋のおすすめ料理

おすすめ料理「きのこの炊き込みごはん」です。
まいたけとしめじを入れて、醤油ベースでとてもおいしいです★



宇賀神 朋美

(うがじん ともみ)

4月19日生まれ